

ゴルフ3 POLO (6N) VW9906

エアバック装着車用 取付説明書

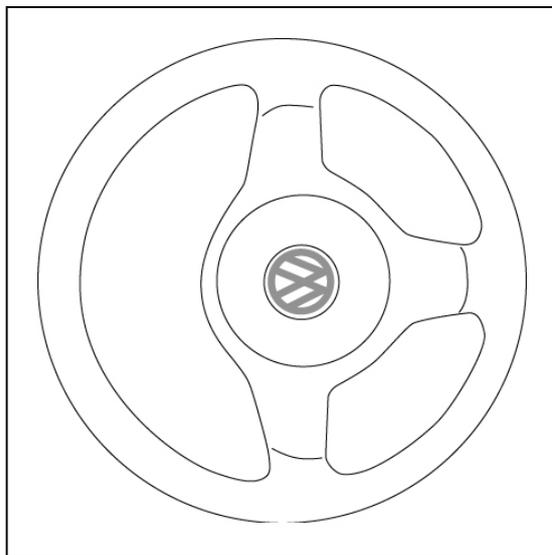
装着前に必ずお読み下さい。

1. 運転席エアバック（以下：SRS）を取外すと助手席、サイドSRSの衝突時作動は推測出来ません。
2. SRS装着車には任意保険加入時に割引料金が自動的に適用されております。ステアリング交換時には必ず保険会社に連絡して下さい。
3. 純正ステアリングに各種リモコンが装備されている車種は、その機能が使用出来なくなります。本体側で操作して下さい。
4. 稀に車両の電気的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。
5. ハンドルを取り外す順序を誤ると、スパイラルケーブルを破損する可能性があります。
また、純正部品の取り外しに関しては自動車メーカーの整備解説書に従っていただくのが普通ですので本書はあくまでも参考としてください。
6. 本製品は純正ステアリングから、社外のスポーツハンドルに交換するためのアダプターです。

装着手順

1. 作業開始準備

装着前にステアリングホイールを左に90度回転させて下さい。



2. バッテリーの+-端子を外して下さい。（作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。）

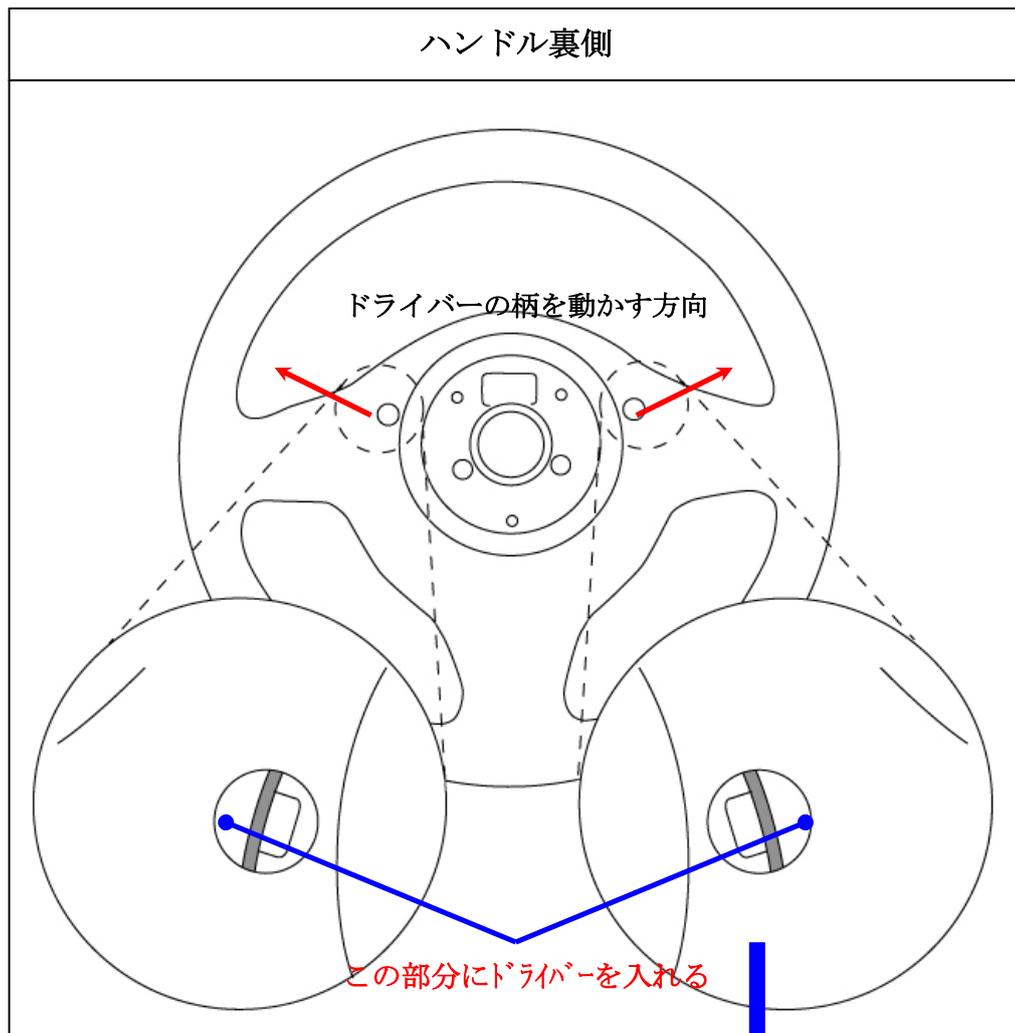
3. SRSユニットの取外し

全長が100mm前後の細いマイナスドライバーで作業を行います。それ以上の長さの物はメーターパネルにあたり作業が困難です。

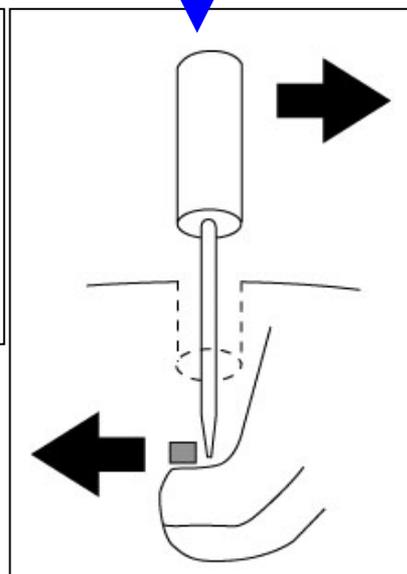
- ・ 左右のサービスホールを上下に向け、ホールからマイナスドライバーでスプリングロックを解除します。

マイナスドライバーはホールの入り口から約 **43mm** の深さにスプリングロックがあり、ドライバーの角度によってはスプリングロックを通過して奥に入ってしまう。30mm の所でスプリングを探ってください。ドライバーの柄を **赤い矢印** の方向に動かしてスプリングロックを外します。左右（上下）ともロックを外して下さい。

SRS 本体を軽く引っ張りながら行くと、外しやすくなります。

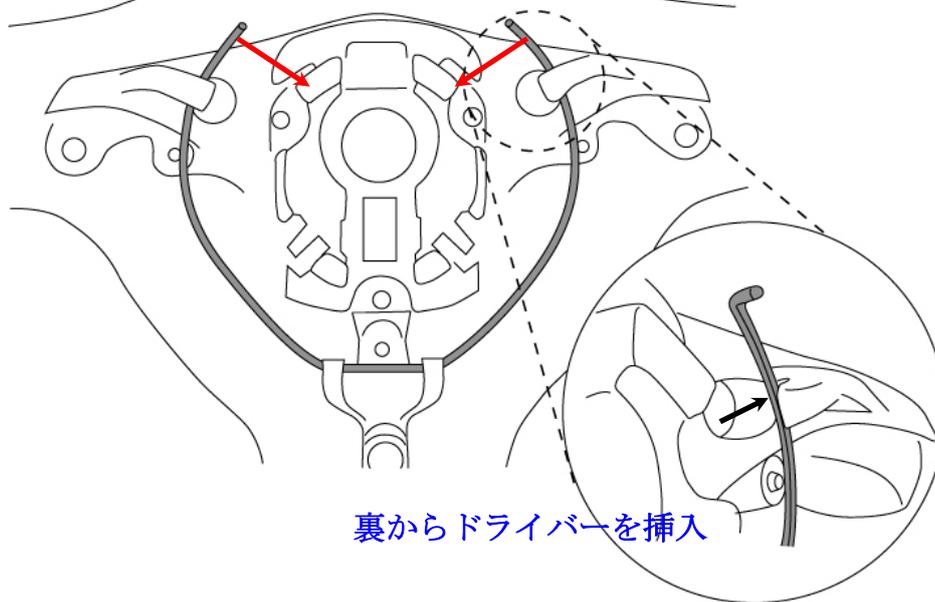


注：画はわかり易いようにハンドルが直進状態ですが、実際は左に回して作業してください。



ハンドル**正面側**（わかり易いようにエアバックは無い状態です）

このスプリングが SRS 本体をハンドルに繋げているので
このスプリングをハンドルから外します。

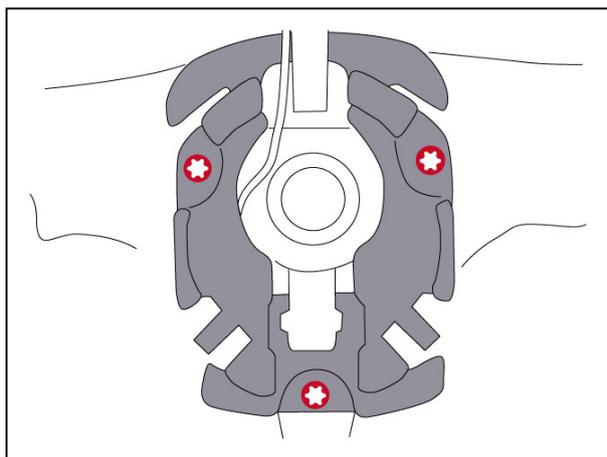


SRS 本体が外れたら車体側につながっているカプラーを外し、SRS 本体を取外して下さい。

！ 取外した SRS 本体には絶対に電気を流さないで下さい。（テスター等も含む）

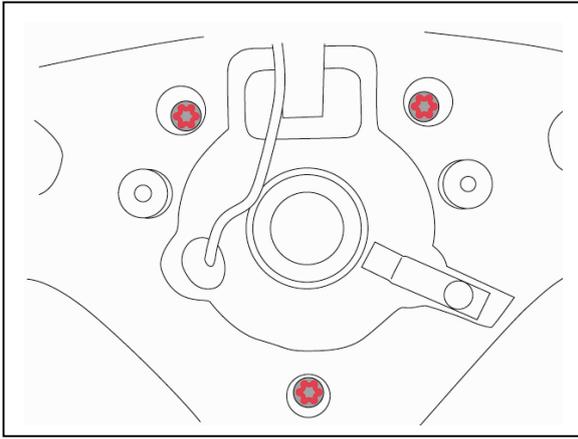
4. ダイナミックウエイトの取り外し。

ハンドルを直進状態にして下さい！！



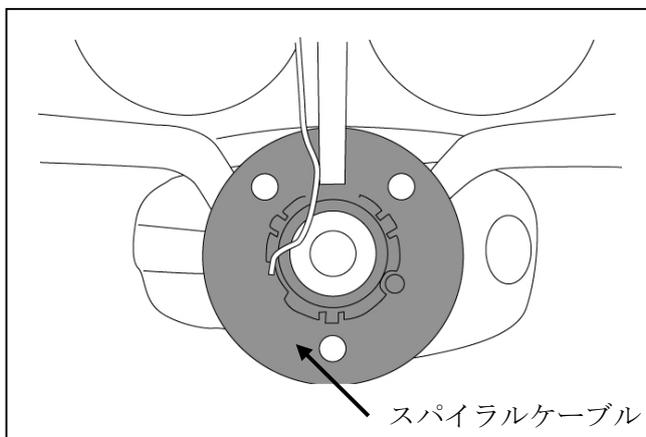
T20トルクスレンチを使用して、ダイナミックウエイトを固定している3本のトルクスボルトを取り外してください。（赤点の位置）

5. スパイラルケーブルのボルト取り外し



ダイナミックウエイトを取り外すと、ハンドルにスパイラルケーブルを固定しているトルクスボルト3本が出てくるので、トルクスレンチを使いネジを取り外してください。

6. ステアリングの取外し



センターナット22mmを緩め、ステアリングを外して下さい。外すと図のようにスパイラルケーブルが車両側に残ります。

注：ハンドルを外す際は、配線類を引っ張って切断しないように注意してください。

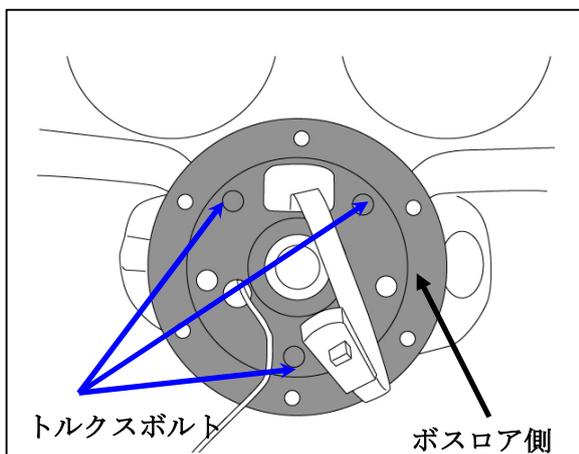
7. 注意

車体側スパイラルは絶対に回さないで下さい、(左右の回転数が決まっています)

8. 2ピース構造のボス分離

六角レンチ5mmを使用してボスの上側（アッパー）と下側（ロアー）を外してください。（六角レンチ5mmはお客様でご用意ください。）

9. ボスの下側（ロアー）の取り付け



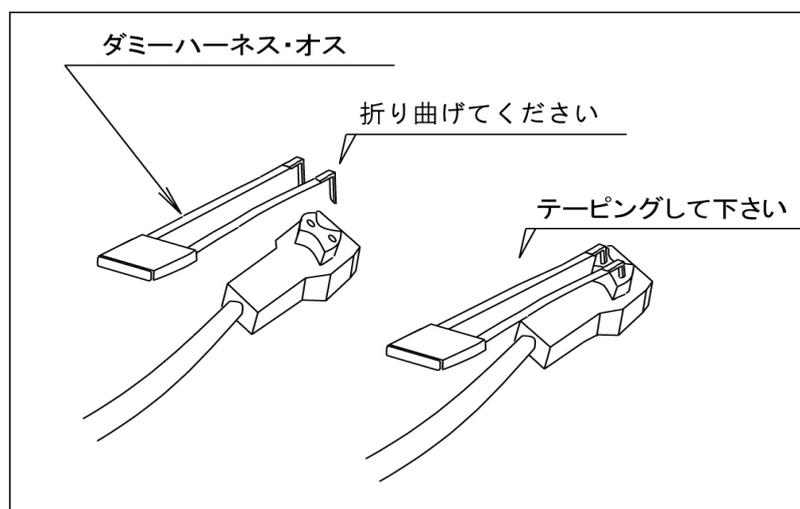
大きく穴が開いている部分を真上にして、ステアリングシャフトに差込、センターナットを手で軽く締め付け借り止めしてください。

5で外したスパイラルケーブル取り付けボルト3本を取り付けてください。

10. SRS警告灯対策

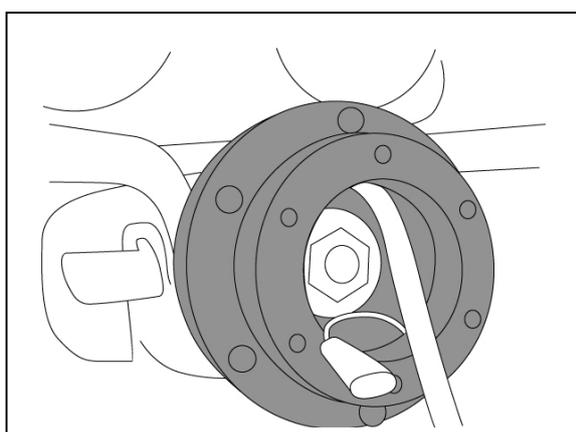
付属のヒューズ付きダミーハーネスを車両側のエアバックカプラーに接続してください。極性はありませんので接続する位置はどちらでも構いません。端子の先を軽く曲げると接触不良等が防げます。接続後はテーピングで抜けを防止してください。

注：SRS警告灯の消灯を100%保証しているわけではありません。車両の電気的な特性の個体差で、消灯できないもしくは時間が経ってから点灯してしまう場合が稀にあります。ご了承ください。



※端子の折り曲げは1回しか行わないでください。
数回折り曲げを繰り返しますと折れる事があります。

11. ボスの上側（アッパー）取付け



TOPマークを上にして、8で外したボルトでしっかり下側（ローア）に取り付けてください。ホーン用配等はボスの中へ引き込んでください。

12. ボスカバーの取付け

ボスにカバーを挿入して下さい。カバーが長すぎて車体に干渉する場合はカッターナイフ等で切って合わせて下さい。

13. アースリングの使用（2極のホーンボタンの場合）

2極のホーンボタンの場合は、付属の変換コードを使用してください。ハンドル取り付け後に、平ギボシメス小をアースリングに、反対側をホーンのアースに接続してください。

1極タイプのホーンボタンには、アースリングと変換コードは使用しません。

1 4. ステアリングの取付け

ステアリングホイールをホーンリング及びアースリングを挟んでボスに取付けてください。モモサイズのホーンボタン（φ50）はホーンリングを使用し、ナルディサイズのホーンボタン（φ55）はホーンリングを使用しません。ここでもステアリングのセンターが出ていることを確認してください。ずれている場合はスプラインの山で調整してください。スプラインの山で調整できない範囲は車両の個体差になりますので、タイロッドで調整してください。

センターの位置が決まりましたら22mmのナットを増し締めしてください。

（規定トルクは3kg・mです。強すぎますとボスのスプライン又はシャフトのスプラインを破損します。）

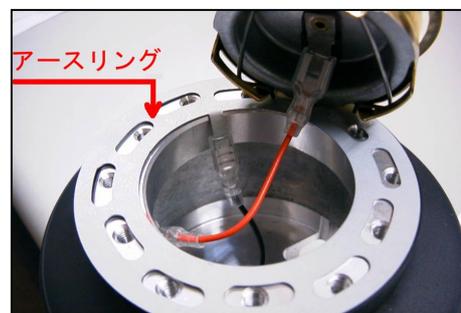
1 5. ホーンキャップの取付け

ホーン用配線(赤)をホーンキャップの端子に差し込んで下さい。**（写真は別の車種ですが同様です）**

2極端子のホーンボタンは付属の変換コードを使用してください。



モモサイズ



ナルディサイズ

1 6. 作業終了

バッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをしてエンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して下さい。

（ホーン/ウインカー/直進状態等に異常があった場合はバッテリー端子を外してから修正作業をして下さい）

1 7. 取外したSRSモジュールは純正ステアリングに取付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。

（保管方法はディーラーにご相談下さい）

トラブルシューティング

Q：SRSモニターランプが点灯する（消灯しない）

A：作業中にイグニッションキーを入れた、ジャンパー線を装着していない、ジャンパー線の接続不良、

対策：ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピューターで消灯して下さい。

（ジャンパー線が接続されていなかったり、接続不良だと消えません）

Q：ステアリングのTOPが出ない

A：シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。

対策：ディーラー又は整備工場で調整して下さい。

Q：ステアリングを切ると異音がある

A：ボス内のSRSコネクタが干渉している

対策：動いているカブラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい。